



BEFORE 現状

年間を通じて高温多湿であり、夏場の温室は最高40℃、8月日中平均35℃と過酷な環境の中で農作業をしているため、作業員の暑熱環境下における暑さ対策として、現在空調服と保冷剤を活用している

農作業者

他社保冷剤（200g）を1人1個空調服に入れているが、使用開始から2時間後には完全にぬるくなってしまふ。1日に2回以上交換することとなり、交換が手間であった。

作業管理者

交換する煩わしさが、農作業者が保冷剤を交換しない一つの要因となっている。その農作業者の「一生懸命さ」がかえって熱中症の発生を助長する危険があると懸念していた。

作業管理者

以前は他社保冷剤を使用するなどの対策を取っていたが、他社保冷剤は解凍時間が早く、安全と作業効率の観点で課題となっていた。

AFTER ICE ENERGYの導入

- 現行保冷剤と比較し、ICE ENERGYを布等で巻いて使用することで**長時間冷却効果を維持することができ**、暑熱環境下における作業リスクの低減することができた。
- 農作業中に複数回交換して手間をかけていたが、**昼休みの交換のみで対応可能**となり、**農作業を止めずに済んだ**。



作業員の暑熱環境下における暑さ対策および生産性向上に寄与できることより、ゆめファーム全農こうち様・ゆめファーム全農SAGA様にてICE ENERGYをご導入

